

\*この内容は米 PTC が 2015 年 7 月 29 日に発表した報道資料の翻訳です。

## PTC、2015年度第3四半期の業績を発表

ソフトウェア売上高7%減、IoTの過去最高の新規顧客数と売上高により  
為替変動を除外したソフトウェア売上高成長率は2%を達成

【2015年8月19日】 [PTC](#)（本社：米国マサチューセッツ州、Nasdaq: PTC、社長兼CEO：ジェームス（ジム）・E・ヘッペルマン）の日本法人であるPTCジャパン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：桑原 宏昭）は、本日、2015年度第3四半期の業績に関し、売上高3億310万ドル、純利益1,740万ドル（1株当たり利益0.15ドル）であったとの米PTCの発表を明らかにしました。2014年度同期の売上高は、3億3,660万ドル、純利益は3,800万ドル（1株当たり利益0.32ドル）でした。

2015年度第3四半期の非 GAAP 売上高は 3 億 390 万ドル、非 GAAP 純利益は 6,170 万ドル（1株当たり利益 0.53 ドル）でした。2014年度同期の非 GAAP 純利益は 6,370 万ドル（1株当たり利益 0.53 ドル）でした。

社長兼 CEO のジェームス（ジム）・E・ヘッペルマン（James Heppelmann）は「第3四半期の非 GAAP 純利益は指標高値を上回る数字を達成できました。これはコスト低減と製品ポートフォリオ管理への注力が、厳しいマクロ経済の状況が中心となる事業に与えた影響を上回ったものです。同四半期では IoT（モノのインターネット）事業では、産業機械系の大規模企業数社が同社の IoT の取り組みで ThingWorx プラットフォームを導入したこともあり、ブックイング、売上高、新規顧客数が過去最高となりました。PTC の IoT のビジョンは、製品の接続性が高まることで進みつつある大きな戦略的転換に合致していると確信しています」と述べています。

非 GAAP やブックイングの数値、ライセンス割合を調整した数値、為替変動の影響を除いた数値については、下記の「非 GAAP に関する重要情報」、「ブックイングの数値の計算について」、「ライセンスミックス調整済数値の計算について」、「為替変動を除いた数値の計算について」で説明されています。GAAP と非 GAAP の調整の照合については本報道発表に付属する表に記載されています。

## 業績の概要

### ● 総売上高（百万ドル）

売上高	第3四半期		変化	為替変動の 影響を除いた 変化
	2015年 4月5日 ～ 2015年 7月4日	2014年 3月30日 ～ 2014年 6月28日		
	ライセンスおよびサブスクリプションソリューション	\$ 83.9		
サポート	165.7	172.0	(4%)	6%
ソフトウェア合計	249.6	269.7	(7%)	2%
プロフェッショナルサービス	53.5	66.9	(20%)	(10%)
合計	\$ 303.1	\$ 336.6	(10%)	(1%)

売上高（非 GAAP）(1)	第3四半期		変化	為替変動の 影響を除いた 変化
	2015年 4月5日 ～ 2015年 7月4日	2014年 3月30日 ～ 2014年 6月28日		
	ライセンスおよびサブスクリプションソリューション	\$ 84.3		
サポート	165.8	172.0	(4%)	6%
ソフトウェア合計	250.1	269.7	(7%)	2%
プロフェッショナルサービス	53.8	66.9	(20%)	(10%)
合計	\$ 303.9	\$ 336.6	(10%)	(1%)

(1) 2015年7月4日で終了した四半期の非 GAAP 売上高からは 80 万ドルの 取得済み繰延収益の公正評価額調整が除外されています。この 80 万ドルについては、40 万ドルはライセンスおよびサブスクリプションソリューション、10 万ドルはサポート、30 万ドルはプロフェッショナルサービスに含まれています。

### ● 事業分野別総売上高（百万ドル）

売上高	第3四半期		変化	為替変動の 影響を除いた 変化
	2015年 4月5日 ～ 2015年 7月4日	2014年 3月30日 ～ 2014年 6月28日		
	CAD	\$ 119.7		
ePLM	122.8	145.8	(16%)	(6%)
IoT	21.4	0.5	4266%	4311%
SLM	39.2	41.3	(5%)	2%
合計	\$ 303.1	\$ 336.6	(10%)	(1%)

売上高 (非 GAAP) (1)	第3四半期		変化	為替変動の 影響を除いた 変化
	2015年 4月5日 ～	2014年 3月30日 ～		
	2015年 7月4日	2014年 6月28日		
CAD	\$ 119.7	\$ 149.0	(20%)	(10%)
ePLM	122.8	145.8	(16%)	(6%)
IoT (1)	22.2	0.5	4426%	4471%
SLM	39.2	41.3	(5%)	2%
合計	\$ 303.9	\$ 336.6	(10%)	(1%)

(1) 2015年7月4日で終了した四半期の非GAAP IoT売上高からは80万ドルの取得済み繰延収益の公正評価額調整が除外されています。

● 地域別総売上高 (百万ドル)

売上高	第3四半期		変化	為替変動の 影響を除いた 変化
	2015年 4月5日 ～	2014年 3月30日 ～		
	2015年 7月4日	2014年 6月28日		
北米・中南米	\$ 134.4	\$ 130.4	3%	4%
ヨーロッパ	109.5	130.6	(16%)	2%
日本	26.2	39.2	(33%)	(21%)
環太平洋	33.0	36.4	(10%)	(8%)
合計	\$ 303.1	\$ 336.6	(10%)	(1%)

売上高 (非 GAAP) (1)	第3四半期		変化	為替変動の 影響を除いた 変化
	2015年 4月5日 ～	2014年 3月30日 ～		
	2015年 7月4日	2014年 6月28日		
北米・中南米	\$ 135.1	\$ 130.4	4%	4%
ヨーロッパ	109.6	130.6	(16%)	2%
日本	26.2	39.2	(33%)	(21%)
環太平洋	33.0	36.4	(9%)	(8%)
合計	\$ 303.9	\$ 336.6	(10%)	(1%)

(1) 2015年7月4日で終了した四半期の非GAAP売上高からは80万ドルの取得済み繰延収益の公正評価額調整が除外されています。この80万ドルについては、70万ドルは北米・中南米、10万ドルはヨーロッパに含まれています。

- 2015年第3四半期のソフトウェア売上高は、為替変動の影響を除外して、前年同期比2%増、GAAP、非GAAPの2015年度第1～第3四半期はそれぞれ5%増、6%増となりました。
- 第3四半期中に獲得した新規IoT顧客は78社で、今年度第1～第3四半期の合計は182社となりました。

- 第3四半期中、サブスクリプションソリューションのブックリングはライセンスおよびサブスクリプションソリューションのブックリングの16%で、前年同期比21%減。これは1つの超大規模受注を含む2件の大規模なサブスクリプションブックリングがあったため。
- 大規模受注（同一四半期に計上されたL&SSブックリング金額が100万ドル以上）は、前年同期の21件から8件に減少。超大規模受注（同一四半期に計上されたL&SSブックリング金額が500万ドル以上）は、前年同期の1社から0社に減少。
- GAAP営業利益率は7.1%（1,400万ドルの未払法的和解費用、400万ドルの組織再編費、300万ドルの買収関連費用、200万ドルの年金プラン解約費用を含む）、非GAAP営業利益率は24.1%。
- 営業キャッシュフローは8,700万ドル。5,000万ドルの自社株購入を実施し、第2四半期末時点の現預金残高は2億7,500万ドル。借入金は6億2,400万ドル、DSO（売掛金回転日数）は55日。

## 展望

2015年9月30日に終了する四半期と事業年度に関する予測値：

(ドル金額の単位は百万ドル)	2015年度	2015年度	2015年度	2015年度
	第4四半期 低値	第4四半期 高値	低値	高値
L&SSの内サブスクリプションソリューションの割合(%)	14%	14%	15%	15%
L&SSの売上高	\$ 90	\$ 105	\$ 340	\$ 355
サポート売上高	164	164	681	681
ソフトウェア総売上高	254	269	1,021	1,036
プロフェッショナルサービス売上高	50	50	229	229
総売上高	\$ 304	\$ 319	\$1,250	\$1,265
営業利益率 (GAAP)	16%	17%	9%	9%
営業利益率 (非 GAAP)	26%	26%	24%	24%
法人税率 (GAAP)	1%	1%	0%	0%
法人税率 (非 GAAP)	10%	5%	11%	10%
発行済み株式数	116	116	116	116
1株当たり利益 (GAAP)	\$0.37	\$0.43	\$0.83	\$0.89
1株当たり利益 (非 GAAP)	\$0.59	\$0.66	\$2.15	\$2.23

2015年度第4四半期のGAAP、非GAAPの営業利益率とGAAP、非GAAPの1株当たり利益の指標値からは、米国におけるComputervision年金プランの解約に関連する約6,500万ドルの解約費用が除外されています。解約は2015年9月30日までに完了すると予測しているものの、損失額は解約の時期と、解約日時点での予測給付債務と年金資産の金額により異なります。

2015年度第4四半期と通期の非GAAP売上高、非GAAP営業利益率、非GAAP1株当たり利益の指標値からは以下の項目とそれらの法人税効果、ならびに個別税項目（該当する場合）が除外されています。

(ドル金額の単位は百万ドル)	2015年度 第4四半期	2015年度
買収前受収益の公正な評価額に対する買収会計処理の影響分	\$ 1	\$ 4
株式報酬費用	14	52
無形資産償却費用	14	56
買収関連費用	-	9
年金プラン解約費用	2	7
保留中の未払法的和解費用	-	14
組織再編	-	43
<b>GAAP調整額合計</b>	<b>\$ 31</b>	<b>\$ 185</b>

### ブッキングの数値の計算について

PTCはライセンスを永久ライセンスとサブスクリプションライセンスという形態で顧客に提供しています。売上の計上が、永久ソフトウェアライセンスの販売（販売時に一括売上認識）とサブスクリプションの販売（売上を繰延べ、サブスクリプション期間に応じて均等認識）では異なるため、新規ライセンスとクラウドサービスの販売に関する社内計画、売上予測、報告についてはブッキング金額を使用しています。永久ライセンス販売とサブスクリプション販売を同等にするため、ブッキングの定義を新規サブスクリプションの年換算契約金額（ACV）×2（換算率）、または永久ライセンスでは売上金額としています。換算率2は、価格、サポート、契約期間、更新率等の様々な変数を考慮して定めたものです。ACVは、新規サブスクリプションブッキング総額を契約期間（日数）で割り、365で掛けたものですが、期間が1年未満のものについては契約金額がACVとなります。ある期間のL&SSブッキングは、サブスクリプションブッキングの換算額を同期間の永久ライセンス収益に加えたものです。

### ライセンスミックス調整済数値の計算について

この数値は、2014年度開始時点からのすべての新規ソフトウェアおよびクラウドサービスのブッキングを永久ライセンスの販売（含2年次以降のサポート）に置き換えて計算しています。ライセンスミックス調整済金額は、該当期間の新規サブスクリプションソリューションブッキング（上記で定義されている）ACVを（上記で定義されている）変換率2で掛けて永久ライセンス同等金額に変換し、その金額を同期間に計上された永久ライセンス売上に加えたものです。サポートは、変換された金額の年額の20%として将来の期間のサポート売上に加えられます。この将来期間の開始は変換されたブッキング金額が収益計上されたとみなされる月の後に到来する四半期です。このみなしサポート売上は12か月に分割して計上され、翌年以降も更新されるという前提となっています。

### 為替変動の影響を除いた数値の計算について

為替変動の影響を除いた売上高の前年同期比の変化は、実際に報告された業績を前年同期の外国為替レートに基づく米ドルに変換したものと前年同期の業績を比較したものです。

## <関連資料>

- 2015年度第3四半期 Prepared Remarks

[http://files.shareholder.com/downloads/PMTC/2776908218x0x842009/6D153E86-E800-4A52-873B-72FF090FCFD7/PTC\\_Q3\\_FY15\\_Prepared\\_Remarks\\_FINAL.pdf](http://files.shareholder.com/downloads/PMTC/2776908218x0x842009/6D153E86-E800-4A52-873B-72FF090FCFD7/PTC_Q3_FY15_Prepared_Remarks_FINAL.pdf)

## 非 GAAP 基準についての重要情報

PTC は財務報告に非 GAAP ベースの情報を補足的に提供しています。非 GAAP の売上高、非 GAAP の営業費用、非 GAAP の営業利益、非 GAAP の売上総利益、非 GAAP の粗利益、非 GAAP の純利益、および非 GAAP の 1 株当たり利益には、買収前受収益の公正な評価額に対するパーチェス法による会計処理の影響分、株式報酬経費、取得済無形資産の償却、組織再編費用、企業買収関連費、米国の年金プランを終了させることにもなうコスト、以前発表した中国における調査にもなう 1,360 万ドルの訴訟引当金、一定の営業外利益および営業外損失、前述項目の関連税効果および個別の税項目は含まれません。当社はこれらの非 GAAP 指標を採用していますが、これらの指標は当社の中核的経営実績に無関係の項目を含まない営業実績の概観を提供するため、投資家が当社の期間毎の営業実績を比較する際の助けになると確信しています。また当社は、当社の経営の潜在的傾向を説明するには非 GAAP 指標が役立つと確信しており、社内外で共有される、事業管理と実績評価のための予算と営業目標をこれらの指標を用いて設定しています。非 GAAP 指標を提供することにより、投資家が他社の財務結果とより容易に比較できるものと考えます。また、経営幹部に対する報酬の一部は、これらの非 GAAP 指標による業績数値に基づいています。但し、非 GAAP を適用することで除外される項目が PTC の財務結果に重大な影響を持つ可能性があるため、非 GAAP に基づく情報は GAAP に基づく情報に代わるものとはなりません。PTC では非 GAAP 法を報告済 GAAP 情報と併せて用いますが、同様の理由で、投資家の方々にとっても上記情報は併用すべきものとなります。また、PTC は、「フリーキャッシュフロー」と「フリーキャッシュフローリターン」に関する情報を投資家に提供することで、追加の外部資金調達なしで現金を生み出す能力を当社が有するか否かを判断すること、ならびにフリーキャッシュフローのうち約 40%を株式買戻しによって株主に還元するという長期的目標に対する当社の履行能力を評価することができるようにしています。フリーキャッシュフローとは、設備投資額を減じた営業活動による（で使用した）ネットキャッシュであり、フリーキャッシュフローリターンとは、買戻した株式の額をフリーキャッシュフローで除した価値です。

## 将来予想に関する記述

第 4 四半期の目標ならびに 2015 年度年間目標およびその他の将来の財務状況・成長についての予測や予想される税率など、本プレスリリースにおける過去の事実ではない情報は、将来予想に関する記述であり、予想とは大幅に異なる結果をもたらす可能性のあるリスクと不確定要素を含みます。これらのリスクには、マクロ経済環境及び／又は世界的な製造業の事業環境が改善しない、あるいは悪化する可能性、当社顧客が当社ソリューションを当社が予想する時期や価格で購入しない可能性、IoT 事業を含む当社の事業が拡大しない、及び／又はそれらの事業が当社の予想した収益を生み出さない可能性、IoT の中核製品を含むリリース済みの新製品または計画中の製品が当社の予想する収益を生み出さない、または想定通りにリリースされない可能性、外国為替レートが当社予



想と異なり、発表する売上高や費用に影響を与える可能性、ライセンスおよびサブスクリプションソリューションズ、サポート、プロフェッショナルサービスの売上比が予想と異なり、1株当たり利益に影響を与える可能性、当社顧客による当社ソリューションのサブスクリプション購入が当社予想を上回り、短期的収益、営業利益率、1株当たり利益に悪影響を及ぼす可能性、サブスクリプションで提供する当社ソリューションの売上が、当社が予想するほどの長期的影響を収益に対して与えない可能性、当社の人事再編成が当社の事業運営に悪影響を及ぼす可能性、十分な営業キャッシュフローを生み出せずフリーキャッシュフローのうち40%を株主に還元できない可能性、キャッシュのその他利用により自社株買戻しが阻害される可能性、当社が予想に反して企業買収や年金プラン終了に付随する追加の出費・損失を負う可能性が含まれます。さらに、当社の財務結果が以前発表された中国における調査の結果によって多大な悪影響を受ける可能性があります。第3四半期には、この案件を解決するために証券取引委員会（SEC）ならびに司法省（DOJ）と当社の間で継続している協議にともない、当社は1,360万ドルの債務があると報告しています。これは、この案件が解決に至った場合、当社が負担を想定している最低限の金額であり、SECとDOJの両方またはSECとDOJのどちらかに科せられる罰金を含んでおらず、罰金額は当社の債務を押し上げ、多大になることがあります。当社が両機関と解決に至る、または仮に解決に至ったとしても解決にかかわる費用負担が計上済の債務を大幅に超過しない、という確証はありません。さらに、将来的なGAAPおよび非GAAPによる法人税実効税率の予想は概算並びにその他地域別売上、費用及び利益、借入、海外子会社からの配当・現金借入などの変化する可能性がある要因に基づいています。実際の結果と予想が大幅に異なる原因となり得るその他のリスクや不確実性は、Form 10-Kの最新年次報告書ならびにForm 10-Qの四半期報告書を含むSECへ随時提出する報告書で詳細に説明されています。

### PTC について

PTC（本社：マサチューセッツ州、Nasdaq: PTC）は、インターネット接続された高度な情報処理能力を持つスマートな世界を見据え、スマート・コネクティッド・プロダクト、スマート・コネクティッド・オペレーション、スマート・コネクティッド・システムに対応するテクノロジープラットフォームとエンタープライズアプリケーションを提供しています。PTCのエンタープライズアプリケーションは、製造業やその他の業種の企業におけるお客様の製品の開発、運用、サービスの変革を促進します。様々な受賞歴のあるアプリケーション開発プラットフォームであるThingWorxを中心とするPTCのプラットフォームテクノロジーは、IoT（モノのインターネット）から創出される新たな価値の提供を目指す企業の事業戦略を可能にします。CADソフトウェアの先駆者として創業したPTCは、現在6,000名以上の従業員を有し、28,000社を超える企業をグローバル規模で支援しています。

### PTC ジャパンについて

米PTCの日本法人（本社：東京都新宿区）。CAD、製品ライフサイクル管理（PLM）、アプリケーションライフサイクル管理（ALM）、サプライチェーン管理（SCM）、サービスライフサイクル管理（SLM）、モノのインターネット（IoT）の各テクノロジーソリューションにより、製造業における顧客企業を支援。拡張性と相互運用性に優れた製品設計ソ

ソフトウェア群の PTC Creo、製品とサービスのライフサイクル全体にわたる製品コンテンツと業務プロセス一元管理の PTC Windchill、ソフトウェア要件管理/変更・構成管理/テスト管理/実装管理の PTC Integrity、モデルベースシステムズエンジニアリング (MBSE) の PTC Atego、技術情報の作成・管理・提供を合理化するダイナミックパブリッシングシステムの PTC Arbortext、技術情報/サービスナレッジ管理/補修部品管理/保証・契約管理/フィールドサービス管理/サービス物流管理の PTC Servigistics、工学技術計算の設計と文書化を同時に行える PTC Mathcad、IoT アプリケーションプラットフォームの ThingWorx、安全なクラウド接続を提供する PTC Axeda、といった革新的なソフトウェア製品と、製品開発業務プロセス改革コンサルティング、製品教育サービス、テクニカルサポートを提供しています。

1992年3月設立。国内4事業拠点。Webサイト：<http://www.ptc.com>

PTCのソーシャルメディアは、以下のURLよりフォロー、ご視聴いただけます。

PTC ソーシャルメディア：<http://www.ptc.com/company/social-media.htm>

Twitter: <http://twitter.com/ptc>、[http://twitter.com/PTC\\_Japan](http://twitter.com/PTC_Japan)

YouTube: <http://www.youtube.com/ptcstudio>

LinkedIn: <http://www.linkedin.com/company/ptc>

Facebook: <http://www.facebook.com/PTC.Inc>

※PTCの社名、ロゴマークおよびすべての PTC 製品の名称およびロゴマークは、PTC Inc. (米国および他国の子会社を含む) の商標または登録商標です。その他、記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

以上



PTC Inc.  
要約連結損益計算書(未監査)  
(単位:千ドル、1株当りの数値を除く)

	第3四半期		第1~3四半期	
	2015年 4月5日 ~ 2015年 7月4日	2014年 3月30日 ~ 2014年 6月28日	2014年 10月1日 ~ 2015年 7月4日	2013年 10月1日 ~ 2014年 6月28日
売上				
ライセンス&サブスクリプションソリューション(L&SS)	\$ 83,926	\$ 97,703	\$ 248,850	\$ 269,114
サポート	165,687	172,021	516,042	508,412
ソフトウェア売上合計	249,613	269,724	764,892	777,526
プロフェッショナルサービス	53,500	66,910	177,782	212,733
売上合計	303,113	336,634	942,674	990,259
売上原価				
L&SS売上原価 <sup>(1)</sup>	12,830	11,246	39,349	32,454
サポート売上原価 <sup>(1)</sup>	20,452	21,118	63,176	62,598
ソフトウェア売上原価合計	33,282	32,364	102,525	95,052
プロフェッショナルサービス売上原価 <sup>(1)</sup>	46,094	58,712	155,847	182,777
売上原価合計	79,376	91,076	258,372	277,829
粗利益	223,737	245,558	684,302	712,430
営業費用				
販売およびマーケティング費用 <sup>(1)</sup>	86,454	91,440	256,085	261,612
研究開発費 <sup>(1)</sup>	54,078	57,405	175,333	166,109
一般管理費 <sup>(1)</sup>	48,100	33,817	119,342	98,888
取得済無形資産償却	9,105	7,998	27,691	23,772
組織再編費	4,393	514	42,625	1,581
営業費用合計	202,130	191,174	621,076	551,962
営業利益	21,607	54,384	63,226	160,468
正味その他利益(費用)	(3,668)	(2,278)	(10,492)	(6,724)
税引前利益	17,939	52,106	52,734	153,744
法人税等	504	14,080	(377)	32,305
純利益	\$ 17,435	\$ 38,026	\$ 53,111	\$ 121,439
1株当り利益				
基本	\$ 0.15	\$ 0.32	\$ 0.46	\$ 1.02
加重平均発行済株	114,764	118,328	115,021	118,753
希薄化後	\$ 0.15	\$ 0.32	\$ 0.46	\$ 1.01
加重平均発行済株	116,025	119,901	116,330	120,573

(1) 上表の金額は次の株式報酬を含みます。

	第3四半期		第1~3四半期	
	2015年 4月5日 ~ 2015年 7月4日	2014年 3月30日 ~ 2014年 6月28日	2014年 10月1日 ~ 2015年 7月4日	2013年 10月1日 ~ 2014年 6月28日
L&SS売上原価	\$ 121	\$ 63	\$ 381	\$ 210
サポート売上原価	1,012	898	2,777	2,711
サービス売上原価	1,317	1,549	4,510	4,435
販売およびマーケティング費用	3,430	3,065	9,383	8,583
研究開発費	2,928	2,231	9,015	7,067
一般管理費	5,263	4,726	12,069	14,856
株式報酬合計	\$ 14,071	\$ 12,532	\$ 38,135	\$ 37,862

PTC Inc.  
非GAAPの財務報告(未監査)  
(単位:千ドル、1株当りの数値を除く)

	第3四半期		第1~3四半期	
	2015年 4月5日 ~ 2015年 7月4日	2014年 3月30日 ~ 2014年 6月28日	2014年 10月1日 ~ 2015年 7月4日	2013年 10月1日 ~ 2014年 6月28日
GAAP売上	\$ 303,113	\$ 336,634	\$ 942,674	\$ 990,259
取得済み繰延L&SS収益の公正評価額調整	352	-	1,624	-
取得済み繰延サポート収益の公正評価額調整	125	-	855	-
取得済み繰延サービス収益の公正評価額調整	309	-	844	-
非GAAP売上	<u>\$ 303,899</u>	<u>\$ 336,634</u>	<u>\$ 945,997</u>	<u>\$ 990,259</u>
GAAP粗利益	\$ 223,737	\$ 245,558	\$ 684,302	\$ 712,430
取得済み繰延L&SS収益の公正評価額調整	352	-	1,624	-
取得済み繰延サポート収益の公正評価額調整	125	-	855	-
取得済み繰延サービス収益の公正評価額調整	309	-	844	-
取得済み繰延サービス原価の公正評価額調整	(135)	-	(392)	-
株式報酬	2,450	2,510	7,668	7,356
L&SS売上原価に含まれる				
取得済み無形資産償却	4,957	4,415	14,438	13,319
非GAAP粗利益	<u>\$ 231,795</u>	<u>\$ 252,483</u>	<u>\$ 709,339</u>	<u>\$ 733,105</u>
GAAP営業利益	\$ 21,607	\$ 54,384	\$ 63,226	\$ 160,468
取得済み繰延L&SS収益の公正評価額調整	352	-	1,624	-
取得済み繰延サポート収益の公正評価額調整	125	-	855	-
取得済み繰延サービス収益の公正評価額調整	309	-	844	-
取得済み繰延サービス原価の公正評価額調整	(135)	-	(392)	-
株式報酬	14,071	12,532	38,135	37,862
L&SS売上原価に含まれる				
取得済み無形資産償却	4,957	4,415	14,438	13,319
取得済み無形資産償却	9,105	7,998	27,691	23,772
一般管理費に含まれる				
買収関連費用	2,778	1,528	8,703	6,768
米国年金プラン解約関連費用	1,995	-	5,392	-
保留中の未払法的和解費用	13,622	-	13,622	-
組織再編費	4,393	514	42,625	1,581
非GAAP営業利益 <sup>(2)</sup>	<u>\$ 73,179</u>	<u>\$ 81,371</u>	<u>\$ 216,763</u>	<u>\$ 243,770</u>
GAAP純利益	\$ 17,435	\$ 38,026	\$ 53,111	\$ 121,439
取得済み繰延L&SS収益の公正評価額調整	352	-	1,624	-
取得済み繰延サポート収益の公正評価額調整	125	-	855	-
取得済み繰延サービス収益の公正評価額調整	309	-	844	-
取得済み繰延サービス原価の公正評価額調整	(135)	-	(392)	-
株式報酬	14,071	12,532	38,135	37,862
ライセンス売上原価に含まれる				
取得済み無形資産償却	4,957	4,415	14,438	13,319
取得済み無形資産償却	9,105	7,998	27,691	23,772
一般管理費に含まれる				
買収関連費用	2,778	1,528	8,703	6,768
米国年金プラン解約関連費用	1,995	-	5,392	-
保留中の未払法的和解費用	13,622	-	13,622	-
組織再編費	4,393	514	42,625	1,581
法人税等調整 <sup>(3)</sup>	(7,309)	(1,275)	(24,551)	(23,088)
非GAAP純利益	<u>\$ 61,698</u>	<u>\$ 63,738</u>	<u>\$ 182,097</u>	<u>\$ 181,653</u>
GAAP希薄化後一株当り利益	\$ 0.15	\$ 0.32	\$ 0.46	\$ 1.01
取得済み繰延収益の公正評価額	0.01	-	0.03	-
繰延サービス費用の公正評価額調整	-	-	-	-
株式報酬	0.12	0.10	0.33	0.31
取得済み無形資産償却	0.12	0.10	0.36	0.31
買収関連費用	0.02	0.01	0.07	0.06
米国年金プラン解約関連費用	0.02	-	0.05	-
保留中の未払法的和解費用	0.12	-	0.12	-
組織再編費	0.04	-	0.37	0.01
法人税等調整	(0.06)	(0.01)	(0.21)	(0.19)
非GAAP希薄化後一株当り利益	<u>\$ 0.53</u>	<u>\$ 0.53</u>	<u>\$ 1.57</u>	<u>\$ 1.51</u>

(2) 非GAAP調整の営業利益への影響を反映しています。

	第3四半期		第1~3四半期	
	2015年 4月5日 ~ 2015年 7月4日	2014年 3月30日 ~ 2014年 6月28日	2014年 10月1日 ~ 2015年 7月4日	2013年 10月1日 ~ 2014年 6月28日
GAAP営業利益	7.1%	16.2%	6.7%	16.2%
取得済み繰延収益の公正評価額	0.3%	0.0%	0.4%	0.0%
繰延サービス費用の公正評価額調整	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
株式報酬	4.6%	3.7%	4.0%	3.8%
取得済み無形資産償却	4.6%	3.7%	4.5%	3.7%
買収関連費用	0.9%	0.5%	0.9%	0.7%
米国年金プラン解約関連費用	0.7%	0.0%	0.6%	0.0%
保留中の未払法的和解費用	4.5%	0.0%	1.4%	0.0%
組織再編費	1.4%	0.2%	4.5%	0.2%
非GAAP営業利益	<u>24.1%</u>	<u>24.2%</u>	<u>22.9%</u>	<u>24.6%</u>

(3) 2015年7月4日に終了した2015年度第3四半期と2015年度第1~3四半期と、2014年6月28日に終了した2014年度第3四半期と2014年度第1~3四半期における法人税等調整は、上記非GAAP調整に該当税率を適用することで計算された非GAAP調整の税効果を反映し、また、一時的税項目が含まれます。2012年第四四半期に、米国における正味繰延税資産に対する評価性引当金が設定されました。同様に、2014年第四四半期に、海外2か国における海外正味繰延税資産に対する評価性引当金が設定されました。米国および上記2か国が非GAAPベースで黒字であったため、2015年度、2014年度非GAAP法人税引当金額は、各国における評価性引当金がゼロであると想定して計算されています。以下の税項目は非GAAP税関連結果からは除外されています。2014年度第2四半期にはThingWorx社買収の際に繰延税金負債の結果、評価性引当金を一部減額したことに関連する890万ドルの一時的な非現金税効果が含まれます。

**PTC Inc.**  
**要約連結貸借対照表(未監査)**  
**(単位:千ドル)**

	2015年 7月4日	2014年 9月30日
<b>資産の部</b>		
現金および現金等価物	\$ 275,060	\$ 293,654
正味売掛金	183,144	235,688
正味有形固定資産	65,020	67,783
正味営業権および取得済無形資産	1,377,323	1,349,400
その他の資産	246,054	253,429
資産合計	\$ 2,146,601	\$ 2,199,954
<b>負債および純資産の部</b>		
前受利益	\$ 389,139	\$ 382,544
与信枠からの借入金	624,375	611,875
その他負債	302,764	351,646
純資産	830,323	853,889
負債および純資産の合計	\$ 2,146,601	\$ 2,199,954

PTC Inc.  
要約連結現金収支計算書(未監査)  
(単位:千ドル)

	第3四半期		第1~3四半期	
	2015年 4月5日 ~ 2015年 7月4日	2014年 3月30日 ~ 2014年 6月28日	2014年 10月1日 ~ 2015年 7月4日	2013年 10月1日 ~ 2014年 6月28日
営業活動からの現金収支				
純利益	\$ 17,435	\$ 38,026	\$ 53,111	\$ 121,439
株式報酬	14,071	12,532	38,135	37,862
減価償却費およびその他の償却費	21,250	19,026	63,455	57,299
売掛金	22,195	(2,112)	44,906	14,625
買掛金および引当金	7,169	9,423	(10,029)	(28,208)
前受収益	19,193	25,656	51,393	55,339
法人税	(9,043)	8,666	(25,608)	14,545
株式賞与の余剰税効果	234	(1,484)	71	(9,576)
その他	(5,665)	(3,310)	(22,971)	(9,938)
営業活動による正味現金収支 <sup>(5)</sup>	<u>86,839</u>	<u>106,423</u>	<u>192,463</u>	<u>253,387</u>
資本的支出	(6,530)	(6,379)	(20,637)	(16,721)
事業買収、取得済現金相殺後 <sup>(6)</sup>	(98,591)	-	(98,411)	(111,519)
借入金に関する正味収入金(支払金)	93,750	(3,125)	12,500	56,875
普通株発行による収入	32	85	38	801
株式による報酬の受給権発生に関連する源泉徴収税の支払い	(7,253)	(5,112)	(29,117)	(26,749)
普通株の再購入	(49,962)	(59,950)	(49,962)	(99,915)
株式賞与の余剰税効果	(234)	1,484	(71)	9,576
信用枠開始費用	-	-	-	(4,120)
その他の融資・投資活動	(10,000)	-	(11,000)	-
現金に対する外国為替の影響	(806)	277	(14,397)	645
現金および現金等価物の正味増減	7,245	33,703	(18,594)	62,260
現金および現金等価物(期首)	267,815	270,470	293,654	241,913
現金および現金等価物(期末)	<u>\$ 275,060</u>	<u>\$ 304,173</u>	<u>\$ 275,060</u>	<u>\$ 304,173</u>

(5) 2015年7月4日で終了した2015年度第3四半期と2015年度第1~3四半期には非米国年金プランへの任意拠出資金支払金額がそれぞれ500万ドルと2,000万ドル含まれています。2015年7月4日で終了した2015年度第3四半期と2015年度第1~3四半期には組織再編支払金がそれぞれ2,500万ドルと4,800万ドル含まれています。2014年6月28日で終了した2014年度第3四半期と2014年度第1~3四半期には組織再編支払金がそれぞれ200万ドルと1,900万ドル含まれています。

(6) 2015年5月7日にColdLight社を9,900万ドル(正味取得現金)で買収しました。2013年12月30日にThingWorx社を1億1,200万ドル(正味取得現金)で買収し、取得金額の内1億1,000万ドルが回転信用枠からの借入金です。その借入金は買収完了を予想し2014年第1四半期に借り入れたものです。